

各 位

会 社 名 株式会社CAPITA
 代表者名 代表取締役 井 沢 宅 蔵
 (JASDAQ・コード:7462)
 問合せ先 管理部マネージャー 新 島 裕 一
 電話 03-5977-1561

第2四半期累計期間業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2021年5月14日に公表しました2022年3月期第2四半期累計期間の業績予想と本日開示いたします「2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の第2四半期累計期間業績実績値と、下記のとおり差異が発生しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績値の差異について
 (2021年4月1日~2021年9月30日)

(金額の単位:百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|-------|-------|-------|-------|----------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 1,585 | 39 | 39 | 10 | 2.77 |
| 実 績 値 (B) | 1,564 | 24 | 24 | 11 | 3.11 |
| 増 減 額 (B-A) | △21 | △15 | △15 | 1 | |
| 増 減 率 (%) | △1.3 | △38.5 | △38.5 | 10 | |
| 前期実績(2021年3月期第 2四半期) | 1,372 | 57 | 58 | △12 | △3.39 |

(注) 当社は2021年6月25日付で普通株式につき5株の割合をもって分割しております。
 2021年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を
 算定しております。

当社の主力事業である石油事業において、原油価格が上昇したことにより売上高は増加したものの
 販売数量と燃料マージンの減少により営業利益は減少しました。また、専門店事業においては、在庫
 確保が困難な状況により供給不足が顕著化し売上高および営業利益が減少となりました。これらを要
 因に税引前当期純利益30百万円を計上し税効果会計適用による法人税等調整額を計上し、当期純利
 益11百万円となりました。

なお、2022年3月期の通期業績予想につきましては、前回公表した予想数値から変更はございま
 せん。今後の業績動向等により、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報お
 よび合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる
 可能性があります。

以 上